

2018年1月22日

宇治市国民健康保険運営協議会
会長 小永井 征也 様

日本共産党宇治市議員団
団長 水谷 修

国民健康保険料について（お願い）

大寒の候、貴職におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

宇治市長からの諮問をうけ、2018年度の国民健康保険の運営につきまして、活発なご協議をされていることに感謝申し上げます。

ご承知のとおり、本年度の宇治市の国民健康保険料は、40代夫婦子ども2人の4人家族で400万円の給与収入がある場合、51万8,390円の保険料で、年間収入の約13%が国民健康保険の保険料となっています。高すぎる保険料は支払いの限界を超えています。

京都府が国民健康保険の広域化に際して示している標準保険料率と比べても、宇治市の平等割が10,735万円も高いなど、低所得者ほど宇治市の保険料は高い設定です。

一方で、国民健康保険事業会計は2009年より9年連続の黒字となります。2017年度の決算見込みでは7億6,517万円の収支黒字が示されており、大幅な黒字決算が見込まれます。また、2016年度決算は8億3,111万円と近年で最大の黒字となりました。

基金残高も2016年度では8億0,725万円となっており、9年連続の黒字決算のもとで、2017年度決算においても多額の基金残高が想定されます。

宇治市が昨年の国民健康保険運営協議会に報告した2016年度の決算見込みは5億3,614万円の黒字でしたが、実際の決算では8億3,111万円の黒字でした。市当局は実際の決算よりも決算見込みを下方に示した報告を毎年繰り返しており、今年度も7億6,517万円の黒字の決算見込みよりも、実際の決算では多い黒字額となることが想定されます。

さらに、市当局は保険給付費が増加しているとしていましたが、昨年度に続いて、2017年度の療養給付費の推移も、前年度より減少する見込みを示しています。

また、宇治市は他市が保険料負担の軽減のためにおこなっている国民健康保険事業会計への一般会計からの「法定外繰入」をおこなっていません。保険料負担の軽減のための一般会計からの「法定外繰入」をおこなうべきです。

同時に、国民健康保険の広域化にともない、国の仮係数に基づく標準保険料率が示されています。それに基づき各市町村を標準化し、来年度の保険料を京都府が試算した結果、一人当たりの宇治市の保険料は10万1389円となり、2016年度の決算（10万2,383円）と比べて99%となっています。

これらのことを御考察の上、国民健康保険運営協議会におかれましては、国民健康保険料の引き下げの「答申」をしていただきますように、お願いを申し上げます。